

第2回

世田谷区立梅丘中学校(区立児童館との複合化)改築基本構想検討委員会 議事要旨

日 時	令和8年7月14日(火) 午前10時00分～午前11時45分
場 所	梅丘中学校 ランチルーム
議 題	1. 第1回検討委員会議事要旨の確認について:(資料1) 2. 基本方針(素案)について:(資料2) 3. 配置計画(案)について:(資料3) 4. アンケート(案)について:(資料4-1～5) 5. 改築だより第2号(案)について:(資料5) 6. 生徒ワークショップ実施結果(速報)について:(資料6)
配 布 資 料	資料1 第1回検討委員会議事要旨(案) 資料2 基本方針(素案) 資料3 配置計画案の比較検討 資料4-1 生徒用アンケート(案) 資料4-2 児童用(小4～小6)アンケート(案) 資料4-3 教職員用アンケート(案) 資料4-4 保護者・近隣住民用アンケート(案) 資料4-5 児童用(小1～小3)児童館アンケート(案) 資料5 梅丘中学校改築だより第2号(案) 資料6 生徒ワークショップ実施結果(速報)

議 題	議事内容(要旨)	
1. 第1回検討委員会議事要旨の確認について	事務局	資料1について説明。ホームページに公表する予定であるため、内容に修正がある場合は7月21日(火)までに事務局まで連絡してほしい。修正があった場合には修正稿を再度配信する。
2. 基本方針(素案)について	事務局	資料2について説明。赤の下線を引いている部分が前回の検討委員会にて提示した基本方針たたき台からの変更点である。
	委員	3番のテーマと文章内にて、安全と安心という言葉が混在している。安心と安全は別の言葉であるため、「安心して学び～」の部分については内容を見直した方が良い。安全という言葉は物理的な環境について記載するべきかと思う。
	事務局	内容について再度検討する。
	委員	前回の検討委員会において、1、3、4、5番のテーマは児童館についても記載した方が良いという意見があったと思う。児童館が主語となるテーマの作成も必要という意見もあったが、その点についてはどのように考えられているか教えてほしい。

事務局	児童館については2番のテーマ内に集約している。学校と児童館のどちらも包含するかたちで「施設づくり」という言葉を使用している。
委員	4番のテーマの2つ目の項目に関しては児童館ではなく、学校としての内容という認識でよろしいか。
事務局	その通りである。
委員	児童館という言葉が反映された反面、学校という言葉が見られなくなった。学校改築が主と考えていたがその点について教えてほしい。
事務局	今回は児童館を複合した施設となるため、学校づくりという言葉から施設づくりという言葉に変更している。教育環境面については、1番のテーマに記載している。
委員	学校の中に児童館が併設されるというイメージを持っていたが、一つの敷地内に学校と児童館があるという意図なのか。
事務局	学校が主であるが、対等な位置関係で児童館が複合していると考えている。学校と児童館により一つの環境を形成することに着目し、基本方針を作成している。
委員	環境づくりという観点については、プールや高齢者施設も含めて考えているのか。
事務局	敷地内の既存施設についても視野に入れながら内容の検討をしているが、今回の基本方針については計画している学校と児童館を対象としている。
委員	2番のテーマに児童館という言葉があるが、その他のテーマに学校という言葉が含まれていないのが気になる。施設全体では学校機能の割合が多いため、学校という言葉を使用するのが良いと思う。1番のテーマに学びの場という言葉があるのであれば、学校という言葉を入れるべきではないか。また、前回入っていた「生徒一人ひとり～」の内容が無くなっているのが気になった。
事務局	指摘いただいた点については、事務局で確認し、検討させていただく。
委員	3番のテーマについて、項目3に地域の防災拠点という言葉を使用するのであれば、生徒だけでなく地域の人々も対象となるため、通いやすいではなく利用しやすい等の方がいいのではないか。
事務局	指摘いただいた点については、事務局で確認し、検討させていただく。
委員	2番のテーマの「子どもたちの権利が保障される～」の部分については、児童館だけに关わる話ではなく、学校にも関わってくる事なので、検討が必要かと思う。

	事務局	学校の子どもたちの権利も保証されるべきものだと考えているので、再度検討させていただく。
	委員	児童館の内容を反映させた反面、学校の内容が少し薄くなってしまったように感じられる。委員の方々の意見を反映し、テーマ及び項目の修正していただきたい。
3. 配置計画 (案)について	設計・事務局 委員	資料3について説明。 A案について、2期工事完了後の給食搬入動線を教えてほしい。
	設計	2階部分で給食室棟と繋がっているの、現在の梅丘中学校と同じようなかたちでの搬入を想定している。
	事務局	本日欠席されている委員の方については事前に資料を確認いただき、意見を頂戴しているので報告する。 ※以下、頂戴した意見 A案の方が学校と児童館がそれぞれ独立しているため、管理面では良いと思う。B案は館庭がA案と比較して小さいことが気になる。羽根木公園も冬は公園内がすぐ暗くなるのでほとんど遊べないのではないかな。専用の館庭があるほうが遊びやすい。B案は児童館が道路に面している点が良い。A案は敷地の奥に位置しているが、運営開始後に利用者に認知してもらえれば、利用面については問題ないと思う。避難所運営の面では、A、B案ともに一定期間、格技室が無い期間あるため、工事期間中に大規模災害があった場合に避難所が機能するか配している。
	委員	B案の児童館は、工事中は学校機能として仮使用するということがあったが、A、B案ともに児童館の開設時期は同じなのか。
	事務局	両案ともに開設時期については2期工事完了後を想定している。
	委員	動線についてはB案の方が良いかと思う。A、B案ともに2期工事期間中の給食搬入動線についても配慮されているので問題ないと思う。
	委員 事務局	児童館から大きい公園に行くことはあるのか教えてほしい。近隣にある松沢児童館については、館庭がないということも要因の一つかと思うが、羽根木公園を利用しているという話を聞いている。B案については、羽根木公園との相互利用により子どもたちの遊びの幅が広げられるのではないかと考えている。
	委員	羽根木公園を利用する頻度が高いのであれば、児童館へ入る

		動線や、公園への動線を考慮するとB案の方が良いかと思う。
	委員	工事期間中、校庭の広さが2, 0 0 0 m ² 程度という話であったが、運動会などはどのように運営していくのか。
	事務局	運動会は学び舎など、他の学校に協力をいただいている。体育の授業は仮校庭や体育館を利用している。
	委員	動線に関して、B案の方は南側から入るようになっているが、学校用と児童館用の門をそれぞれ設けるという認識でよろしいか。
	事務局	その通りである。学校用の門から北側の位置に児童館用の門を設置する想定である。
	事務局	現状の図では、学校用出入口は西側だけの表記となっているが、南側にも出入口を設置する可能性はある。
	委員	東側道路から2階から入れるというのは、不登校生徒も周りからの視線も受けづらいので良いと思う。
	事務局	児童館へのアクセスは基本的に1階のみとなる。2階から入ってきた際には1階へ下りる動線となる。地域開放や避難所利用の際には、2階から入ってもらい体育館などを利用できる形にしたいと考えている。セキュリティのことなどを含め、今後検討していく。
	委員	B案の方が若干大きいように見えるが、面積は同じなのか。全体面積は大きく変わらない。体育館もステージや器具倉庫などを確保可能な大きさとなっている。
	事務局	A案だと児童館と体育館との距離が大きく、セキュリティをかける位置が2カ所となる。B案は体育館と児童館が近くに固まっているため、セキュリティ計画が容易だと思われる。
	委員	セキュリティの方法についても運用面について検討をする必要があると思う。また、給食の搬入については、A案は、一度給食室から2階に上げて、渡り廊下を渡り、校舎内に配膳するかたちになる。配膳についてもスタッフ配置や内容についても検討が必要となると思う。セキュリティと配膳経路からB案の方が良いと思う。
	事務局	セキュリティに関しては今後検討していくが、地域開放室等をコンパクトにまとめた方が管理しやすいという認識である。給食配膳については、現状委託業務内に含まれているので対応可能かと思う。
	設計	1階の配膳先は特別支援教室が主であり、教室階と比較すると配膳する量は少ないので対応可能かと思う。
	委員	A案では、給食室から2階へ上げて渡り廊下を渡り、校舎の配膳室へ搬入し、その後各階へ配膳する。B案では1、2階

		で給食棟と校舎が接続しているため、給食室から校舎の配膳室へ搬入後、各階へ配膳するという認識でよろしいか。また、各階への配膳はエレベーターにて行うということによろしいか。
	事務局	その認識でよろしい。エレベーターについては校舎の配膳室に隣接して計画する予定である。
	委員	給食の配膳について、B案の給食室棟と校舎棟が1、2階で繋がっていることのメリットがあれば教えてほしい。
	設計	1階部分で校舎の配膳室へ搬入することができ、その後上階へと運ぶことができる。B案と比較して搬入経路が単純化される。
	委員	A案の2階部分が給食室棟と接続されているのは分かったが、渡り廊下の下部分はどうなっているのか教えてほしい。
	設計	渡り廊下の下部分になるので、館庭周辺部に一部屋根がかかるようなかたちとなる。
	委員 設計	渡り廊下の下には柱がくるのか。 児童館に面している部分については、柱を下におとさずに建物躯体にて計画することが可能である。その先の給食室棟につながる部分については、渡り廊下の下部に柱が必要になると思う。
	委員	A案の敷地内の児童館動線について、グラウンドとの境界部分はフェンスか何かで区切るのか。またB案の館庭の大きさはどのくらいなのか。
	事務局	動線の境界部分については、フェンスや植え込みなどで区切る想定である。
	設計	館庭の広さについては、A案は200㎡、B案は100㎡程度確保している。
	委員	アクセスのしやすさや管理のしやすさなどを考慮すると道路に面しているB案の方が良いと思う。
	委員	日中は学校と児童館を分けないといけない中で、児童館へのアプローチが長いとセキュリティの部分で懸念される点がある。敷地内で施設全体が分断されてしまい、使い勝手があまりよくないのではないかと思う。どの程度のセキュリティを考えているのか。
	事務局	フェンスなどで区画する場合、児童館の管理になると思われる。安全管理上、児童館職員が目が届く範囲についても配慮する必要がある。中学生が主に利用すると想定した中で、学習利用などで夜間開放をするようになった時には、目が届き

		やすい動線やアクセスのしやすさというのは重要だと考えている。 駐輪場も設置することになると思うので、さらに敷地が分断されてしまうのではないかという懸念点もある。
	委員	東側 2 階出入口の想定されている利用対象者を教えてほしい。
	事務局	地域開放や災害時の一般利用者を想定している。
	委員	東側道路からの入り口部分には駐輪場はあるのか。
	事務局	既存擁壁が現行法令に照らして不適格であるため、建て替えの際に擁壁を新設する想定である。その時に道路部分を 2 m 程度拡幅する想定であり、拡幅部分と合わせて駐輪場を計画することも可能と考えている。
	委員	A 案と B 案で体育館の図面が違っているように見えるが、付属室などが異なるのか。
	設計	計画段階であるため、図面の表現に違いが生じているが A、B 案ともに器具庫やステージなどを計画する。
	事務局	現段階では、施設全体のゾーニングを行っている段階であるため、詳細な設備等の検討についてはこれから行っていく。
	委員	道路を拡幅されるという話であったが、資料の図面には拡幅部が表現されていないように見える。B 案でいうと館庭部分も少し狭くなる可能性があるのか。
	設計	その通りである。南東部の道路については一部必要な幅員が確保できていないことが分かっているため、その点についても今後検討していく。
	委員	2 期工事期間中の給食の配膳はどのようにするのか。
	設計	給食室から配膳車両に積み込み、東側道路を經由して南側出入口から敷地内へ入り、校舎へと搬入する想定である。
	委員	給食室から東側道路までがスロープとなっているが、汁物などを運搬する際には問題ないのか。
	委員	現在も太子堂の調理場から車両にて配送している学校もあるため、問題ないと考えている。
	事務局	B 案について館庭が狭いという意見もあったが、館庭の横には遊戯室を設置することを想定しており、館庭と遊戯室を連携しながら使用することも可能かと思う。A 案では、館庭と遊戯室が離れる想定であるため、連携利用は難しいと思う。
	委員	委員の皆様からも多数の意見をいただいた中で、今回は児童館の位置をどこにするかが一つ重要な点になってくること

		わかっている。皆様の意見を聞いたところ、B案が優先案となると思う。事務局側としてはどのように考えられているか。
	事務局	教育環境的にはA、B案に違いはないが、児童館運営や地域開放のやり方などを踏まえたうえでB案を推奨している。
	委員	児童館の計画的にはどちら推奨しているのか。
	事務局	A案は児童館や館庭の広さで魅力を感じる部分はあるが、アクセスの良さと視認性の良さを考慮するとB案を推奨している。児童館は不登校生徒が利用されることもあるので、道路から直接入れる点も良いと考えている。
	委員	委員の皆様の意見も教えてほしい。
	委員	A案については学校と児童館が独立していて管理面や運用面においては良いと思う。館庭もしっかり確保されている。
	委員	学校と児童館がそれぞれ独立している方が良いと考えていたが、今後は同じ建物内にあるという状況も重要になってくるという考えも理解できた。ただ、不登校の生徒は、建物が分かれている方が児童館へ入りやすいという考えもある。館庭とグラウンドの関係性については安全面において配慮する必要があると思う。
	委員	A案の児童館への動線は福祉施設側とグラウンド側のそれぞれにフェンスなどが必要になってくると思う。A、B案ともに建物形状については体育館部分の段差のない形状とした方が一体感があってよいと思う。
	委員	他の児童館を見ていると児童館への入りやすさという点にはこだわりを持って計画されていると思うため、B案の方が良いと思う。館庭については、館庭のない児童館もある。特殊なかたちの館庭となるかもしれないが、その形状を生かすように計画すれば問題ないと思う。
	委員	ゾーニングを見るとB案の方が良いと思う。館庭などについては今後の課題として検討すればよいかと思う。
	委員	児童館と羽根木公園との関係性やアクセスのしやすさからB案が良いと思う。一体でありながら、学校と児童館がそれぞれ独立しているつくりにしていければ、利用しやすさなどにも配慮可能かと思う。
	委員	委員の皆様の意見から、検討委員会としてはB案を推奨案とする。次回検討委員会ではB案を基に室配置などが提示されるところと考えてよろしいか。
	事務局	今後、アンケートや中間説明会を予定している。その中から頂戴した意見も参考にしながら、B案を基に計画案を提示したいと考えている。

4. アンケート（案）について	事務局 委員 事務局 委員 事務局 委員 事務局	資料４－１～５について説明。 資料４－１の質問２の中に昇降口という選択肢があるが、選択があった場合にどのような対応をするのか。 対応の有無については、計画内容にもよるが仮に昇降口について意見を反映するのであれば、昇降口を広く確保したり、明るい場所となるように計画するなどになると思う。理由を記載する欄もあるため、内容を見ながら検討していきたい。 資料４－４の回答者について、近隣・地域住民の選択肢があるが、回答者を地域で把握する必要はないか。問題ないとは思いますが、必要あれば分けた方が良いと思う。 検討して対応する。 資料４－１の生徒用のアンケートの中に資料４－２の質問３があった方が良いと思う。 アンケートへ反映する。
5. 改築だより第２号（案）について	事務局	資料５について説明。
6. 生徒ワークショップ実施結果（速報）について	事務局	資料６について説明。